

このたびの熊本地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
皆様の安全と被災地の一日の早い復興を心よりお祈り申し上げます。

ニュースでデフパペ公演に関わった地域の名前が出てくると、
あの方は大丈夫なのだろうか？あの時お会いした方は無事なのだろうか？と、こちらでも無事を祈るしかありません。
少しでも早く落ち着いた生活に戻り、また九州で皆様にお会いしたいと思います。
お互いに頑張っていきましょう。

〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内

TEL : 044-777-2228 FAX: 044-777-3570
e-mail : deaf@puppet.or.jp URL: http://deaf.puppet.or.jp/

Twitter, Facebook もやっています！
Twitter DEAF_PUPPET
Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」



by 大里千尋

私の父と母はくだらないことでよくケンカをしています。
ケンカの出発は、イビキがうるさいとか、いやあなたの方がうるさいとか、
と笑ってしまうようなささいなこと。
大体はそこで終わり。でも白熱をすると、10年も前にこんなヒドイことを言ったとか、
あの時は本当に傷ついたとか、いつも同じところに行きついて、何も解決されないままプイっとなります。
した方が忘れてしまっても、された相手が覚えているなんてよくあることです。
された相手も、例え何度謝られたことでも、こびりついた嫌な体験がよみがえってついつい言うてしまうのです。
さっぱりとした人もいれば、そうもいかない人もいます。

してしまったこと、起きてしまったことをなかつたことには出来ません。
ではいつまでたっても、言われ続けなくてはいけないのでしょうか。
それもしんどい。
しんどいけれど、
あの時・・・と言われた時に、またそれかよ！と言わずに、相手がどうしてそう思うのかを分かってもらうこと、
そして、その都度誠意をもって謝ること。
出来る限り、自分はそうでありたいと思います。

父と母の言い合いの向こうでテレビのニュースが大きなケンカを伝えています。
もとをたどれば、その姿は目の前にいる私の父と母。

日々制作..



by. 吉村衣世

『ごはんピザ』というものがあります。

炊飯器に1日残ってカピカピになった(少し黄ばんだ)ご飯をぺったんこに潰し、生地状にして、油を敷いたフライパンに押し付け焼き
生地にケチャップとチーズを乗せ、余裕があればピーマンやベーコンを乗せ
蓋をしてじっくり焼いたものです。

初めて聞く方には怪訝な印象を与えるかもしれませんが、これがまた、美味しいのです。

私も初めて友人に振る舞ってもらった時は、顔が引きつりましたが、
一口ほお張ると何とも言えない優しい美味しさで、
あのどうしようもないカピカピのご飯がこんなに化けるのか…！と驚きました。

ごはんピザには、炊き立てのご飯は向きません。半日～一日おいたカピカピが必要なのです。

何だか先が見えなくて、お金もなくて、でも忙しくて、せっかく炊いたご飯もカピカピにしてしまった。もう全部嫌だ、捨ててしまえ、と思う前に、

でも、もしかしたら、

という希望が、少し涙が出そうな、優しい味の、あのごはんピザを作ったのだと思います。

もう全部だめだ、と思う前に、

でも、もしかしたら。が、時には素晴らしいものを生み出す可能性があることを、私は信じています。

【みんなでワークショップ&表現のいちばレポート】

障がいのある方達が働いている「カフェベーカリーぶかぶか」のメンバーさんとその地域の人と一緒に、ワークショップを実施し、1つのお芝居を作りました。横浜市緑区にある「みどりアートパーク」にて2月に開催された「表現のいちば」でそのお芝居を発表し、たくさんの人に見て頂きました。以下はデフパペ鈴木文によるレポートです。

今年で2回目のぶかぶかさんとのワークショップにデフパペメンバーが参加出来たのは、全部で6回のWSが始まって半分を過ぎてから。みんなどんなことをやっているのかなあ、と気に掛かりながらも具体的なイメージがつかめずに居ました。



久しぶりに稽古場に入ると、顔馴染みの「ぶかぶかWS」メンバーさんの笑顔に迎えられました。みんな覚えていてくれる！新しいメンバーさんもいて、それぞれ個性に溢れた強者揃い。中には去年「表現の市場」を観て、是非自分も参加したいと来られた方もいます。

まずは元気に歌の稽古。本当にぶかぶかのみなさんは歌をうたうのが大好きです。今回の演目は、谷川俊太郎の「生きる」の詩をもとに、みんながそれぞれ《生きる》について思ったこと、感じたことを言葉や絵で表現していくものでした。



自分の事を発表するのはちょっと恥ずかしそうだけど、でもみんな活き活きしている。



生きること。それは、皆と一緒にカレーを食べること。
あたたかい布団で眠ること。

《生きる》というのは、一番身近で、無くてはならないことで、それは簡単なことでもあり、また難しく大変なことでもあります。ぶかぶかのみなさんは、見逃しがちだけど確かな《生きる》を、分かりやすい言葉で観客に伝え、また元気を与えてくれたと思います。拍手！！！！
鈴木文

デフ・パペットシアター・ひとみ友の会会員募集中!

★年会費 1,500円 ★ペア会員 2,500円

素敵な特典付き!

お気軽にデフパペ事務所までお問い合わせください。

デフ・パペットシアター・ひとみ

やなせけいこ 榎本トオル 善岡修 鈴木文
牧野英玄 末永快 大里千尋 吉村衣世

3カ月に一度のこんにちは

b y 善岡修

現在、デフ・パペットシアター・ひとみは「森と夜と世界の果てへの旅」「はこ/BOXES」「稲むらの火」「一寸法師」とこれまでの作品の稽古を重ねていますが、これらの作品は初演から年月が経った作品でありながら、いつも新鮮な発見があります。

人形そのものは、初演から変わらない人形ですが、その人形を操作する役者は、演出で人形の担当が変わったり、役者そのものが年齢を重ねたり、操作していた役者の退団によって、変更になることがあります。

人形のデザインそのものは、変わらないはずなのに、違う人が変われば、その人のエッセンスが加わった人形になります。

新人だった僕も最初にバトンタッチされた人形の胴串(頭などを操作する棒)には、手垢や血が染み込んだ木製の胴串に、説得力のある汗や血が染み込んだ胴串に目を丸くしました。

木製の棒状の胴串は、長年使い込まれているので握った形にすり減っている部分や、汚れている部分と汚れていない部分もあります。汚れやすすり減りは、僕の前任者の足跡のようなもので、汚れやすすり減りをたどって型に、はめます。

マネをすることでマネから発見することもあります。

人形の胴串を握るとこれまでの前任者の思いが伝わってくるものもあります。そう考えると、人形劇のみならず私たちは手に込めた思いが手に伝わり、チカラを頂くこともあります。

人形劇の持つチカラで、皆様が元気になるように私たちも頑張ります。

★☆☆役者募集★☆☆

人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみでは、役者を募集しています！一緒に舞台をつくりませんか？

【仕事の概要】

全国各地での人形劇の公演・ワークショップ
人形劇作品の企画 など

【条件等】

- ◆手話・人形劇 経験者歓迎。(未経験の方でもご応募いただけます。)
- ◆耳が聞こえない・聞こえる、問いません。
- ◆年齢・入団日は応相談。
- ◆出演料有り。

【応募方法】

プロフィール(お名前、生年月日、ご連絡先、あれば舞台経験歴)と志望動機を記載の上、メールまたはFAXにてお申し込みください!詳しくはHPにて!

次回は夏号!

活動スケジュール

●「森と夜と世界の果てへの旅」

8/11 大阪府大阪市 阿倍野区民センター
10月～11月 北海道・東北 / 四国・九州ツアー
12/17 千葉県柏市 アミュゼ柏

●「はこ/BOXES～じいちゃんのオルゴール♪」

6/18 千葉県 木更津市立第一小学校
6月～7月にかけて学校公演

●「稲むらの火」

9/10 千葉県旭市 東総文化会館

●「一寸法師とお楽しみ交流会」

5/3・4 長野県飯田市かぶちゃん村
7月・8月 山形県ツアー
9/24 栃木県 とちぎ福祉プラザ
12月 神奈川県川崎市 井田小学校

●～その他活動～

4/27 東京都三田ものしり会（善岡）
4/30・5/1 乙女文楽スタジオ公演（鈴木）
5/22 川崎市情報文化センターまつり
（榎本・末永）
8/27 泰野市講演会 （善岡）
9/4 甲府市

追加・変更される場合もありますので、詳しくは
デフパペ事務所にお問い合わせ下さい。